

(口頭試問説明用ワークシート)

※口頭試問準備 書いてみよう！ 見てもらおう※

平成31年度 岡山県立和気閑谷高等学校特別入学者選抜
選択実施する検査（口頭試問） 指示書 例

- ◆ 下の に示されている章句の中から1つを選んでください。
- ◆ 口頭試問の当日は、検査員から下にある質問が聞かれます。答えられるように事前に準備をしておいてください。
- ◆ 資料（「資料貼付用紙」に自分の経験したことの根拠となる成果物や賞状等を貼ったもの）を持参した場合は、必要な時に指し示して説明してください。

※例として H28～30 年度入試で取り上げた論語を使っています

A ^{のたま}子曰はく、徳は孤ならず、必ず ^{となり} 鄰有り。(H30)

B ^{のたま}子曰はく、我は生まれながらにして之を知る者に非ず。 ^{あら}古 ^{いにしえ}を好み、 ^{びん}敏にして ^{もつ}以て之 ^{これ}を求むる者なり。(H29)

C ^{のたま}子曰はく、君子は ^{これ}諸 ^{おのれ}を己に求め、 ^{しょうじん}小人は諸を人に求む。(H28)

質問

- 1 選んだ章句の読み
- 2 その章句の意味
- 3 その章句に関連する自分の具体的な経験
- 4 その経験をどのように高校生活に生かしていくつもりか

章句の意味《本番では自分で調べてね》

- A 先生（孔子）がおっしゃった。「誠実に善い行いをしている人は、決して独りではない。その人を理解して助けてくれる人が必ずあらわれる。」
- B 先生（孔子）がおっしゃった。「私は、生まれながらにして、知識をもっているわけではない。過去の歴史や古典を好み、その中から鋭敏に知識や法則を学び続けているのだ。」
- C 先生（孔子）がおっしゃった。「人格の優れた人は、できないことを自分自身の責任にするが、人格の未熟な人は、できないことを他人のせいにしたがるものだ。」と。

- ① A～Cのどの章句を選びますか。選んだ章句を読んでみよう。
- ② 章句の意味を言って(今日のところは読んで)みよう。自分が理解した言葉で言えるといいね。
- ③ その章句の意味に結びつくような経験を思い出してみよう。本番はできるだけ具体的に！

- ④ その経験からあなたはどんなことを学びましたか？

- ⑤ ③, ④の経験や学びの証拠になるようなものがありますか？

- ⑥ その経験や学びを高校生活にどう生かしますか？

- ⑦ 確認しよう！⑥で考えたことは②の意味とずれていませんか？

コレ重要!!

今日は、簡単にさらりと書きながら考えていきましたが、本番はじっくりと考えて構成をまとめておきましょう。

自分の思いが伝わるように、一生懸命語ってください。

**6分以内に収まるように、何度か練習しておきましょう。
「備えあれば憂いなし」ですよ**

例

指示書の補足事項

- ①口頭試問は、1人ずつ行います。
- ②試問時間は1人6分で、経過時間は受検生から見えるように表示されています。超過した場合は、減点されることがあります。
- ③質問は、すべて質問ごとに検査員からの指示に従って答えてもらいます。
- ④口頭試問の当日は、指示書は検査室内の机上にも置いてありますので、見ながら受検できます。
ただし、漢字のふりがなはありません。
- ⑤検査室に持って入れるものは、受検票のみです。ただし、資料（「資料貼付用紙」に自分の経験したことの根拠となる成果物や賞状等を貼ったもの）を準備する人は、それも持って入りなさい。持ち込む場合は、次のことに注意して準備してください。
 - ※「資料貼付用紙」は同じものを2部作成してください。1部は掲示用、もう1部は検査員用です。
 - ※コピーを取りにくいものは、写真を撮ってそれを印刷したものを貼り付けてもよろしい。各自で工夫してください。
 - ※「資料貼付用紙」には、受検番号のみを書いてください。それ以外のものを書いたり描いたりしてはいけません。メモのようなものが書き込まれていた場合、口頭試問で使用することはできません。
- ⑥資料は2部とも提出してもらいます。原本を貼りつけず、コピーなどを貼りつけてください。

受検番号
(算用数字)

例

平成三十一年度 岡山県立和気開谷高等学校特別入学者選抜

選抜実施する検査（口頭試問） 資料貼付用紙

(縮小しています)
本物はA3用紙